

# 令和2年 7月豪雨

八代市長  
中村博生

今後も、市民の皆様にも一日も早く安心した日常生活を取り戻していただけるよう、私をはじめ、職員一丸となって、早期の復旧・復興に向けて全力を尽くしてまいります。

市では、災害発生直後から被災された皆様の安否確認や被災箇所の状況把握・応急復旧、新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所運営、災害ごみのお受け入れ、罹災証明の発行などに全力を挙げて取り組んでおります。

今回は、坂本地域を中心に多くの住宅被害が発生するとともに、市街地と坂本地域を結ぶ主要な幹線道路であります国道219号をはじめ、県道・市道を含む多くの道路が寸断され、さらには、鉄道橋を含む4つの橋梁が流失しました。また、坂本支所庁舎が天井付近まで水没したことに加えまして、道の駅「坂本」や球磨川流域にある公園施設なども壊滅的な被害を受けております。

このたびの「令和2年7月豪雨」により、本市におきましても、甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げます。

また、土砂災害や浸水被害などにより、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。



豪雨の爪痕







# みなさんの協力・支援ありがとうございます

